

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 関電工

コード番号 1942 URL <http://www.kandenko.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山口 学

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 黒澤 一栄

TEL (03)5476-2111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	216,205	1.5	4,998	26.3	5,550	20.6	3,041	4.9
21年3月期第2四半期	212,955	—	3,958	—	4,604	—	2,900	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	14.87	—
21年3月期第2四半期	14.17	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	344,286	176,337	50.2	844.62
21年3月期	379,093	172,487	44.6	826.08

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 172,756百万円 21年3月期 168,980百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	8.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

配当金の内訳 記念配当 2円00銭

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	474,000	0.0	8,400	△5.2	9,400	△4.6	4,700	△15.9	22.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |              |             |              |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第2四半期 | 205,288,338株 | 21年3月期      | 205,288,338株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第2四半期 | 751,390株     | 21年3月期      | 732,351株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 204,546,948株 | 21年3月期第2四半期 | 204,618,520株 |

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において想定される経済情勢や市場動向などを前提としたものであり、今後の様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページをご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期及び第2四半期のわが国経済は、世界的な金融危機を背景として輸出や設備投資が大幅に減少し、景気の低迷は更に深刻化いたしました。

このような情勢にあつて、民間建設投資は当初計画の延期・凍結なども加わり著しく減少するとともに、電力設備投資も依然として圧縮措置が講じられたことから、当社グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい状況で終始いたしました。

このため新規の受注は低調なものとなりましたが、当第2四半期までの連結業績は、現場施工力の効率的な運用やコストマネジメント機能の強化を始めとする様々な収益構造改革にグループを挙げて取り組んだ結果、厳しい経営環境にもかかわらず収益面で前年同四半期を上回ることとなりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産の状況

・ 総 資 産	3,442億8千6百万円	(対前期末比 90.8%)
・ 純 資 産	1,763億3千7百万円	(対前期末比 102.2%)
・ 自己資本比率	50.2%	(対前期末比 5.6ポイント増)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ348億7百万円減少し、3,442億8千6百万円となりました。

## (資産の部)

流動資産は、受取手形・完成工事未収入金等が246億2千1百万円、未成工事支出金が89億6千8百万円減少したことなどから、流動資産合計で前連結会計年度末に比べ364億7千9百万円減少しました。

固定資産は、主に投資有価証券が23億1千3百万円増加したことから、固定資産合計で前連結会計年度末に比べ16億7千2百万円増加しました。

## (負債の部)

負債の部は、流動負債の支払手形・工事未払金等が278億5千7百万円、未成工事受入金が82億5千3百万円減少したことなどから、負債合計で前連結会計年度末に比べ386億5千7百万円減少しました。

## (純資産の部)

純資産の部は、利益剰余金が18億1千5百万円、その他有価証券評価差額金が19億7千3百万円増加したことなどから、純資産合計で前連結会計年度末に比べ38億4千9百万円増加しました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、国内建設投資の一層の落ち込みに伴い、業界内の受注・価格競争が一段と熾烈化することが予想され、電力流通設備投資も引き続き抑制基調で計画されていることから、依然として厳しい状況が継続するものと想定されます。

従いまして、連結業績予想とその前提となる新規受注高を含む個別業績予想は平成21年4月30日に公表したのから変更しておりません。(個別業績予想は16ページに記載しております。)

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項なし。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定している。

(ロ) 棚卸資産の評価方法

一部の棚卸資産は、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定している。

(ハ) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法による減価償却費は、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定している。

(ニ) 経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目は、合理的な算定方法による概算額で計上している。

(ホ) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断は、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度で使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用している。

## ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## ①完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主に工事完成基準を適用していたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用している。

これにより、当第2四半期連結累計期間の完成工事高は926百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ38百万円増加している。

## ②重要な引当金の計上基準の変更

退職給付引当金

当社は、数理計算上の差異について、従来、発生額の概ね90%が費用処理される定率法（5年）を採用していたが、数理計算上の差異を発生年度ごとに管理するとともに、各連結会計年度の発生額を平均残存勤務期間内の一定の年数で按分する方法により全額費用処理し、期間損益計算の適正化を図るため、第1四半期連結会計期間から定額法（5年）に変更している。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ498百万円増加している。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	31,049	44,320
受取手形・完成工事未収入金等	59,699	84,321
有価証券	22,003	11,001
未成工事支出金	69,646	78,614
材料貯蔵品	7,061	7,025
その他	12,339	13,842
貸倒引当金	△1,335	△2,180
流動資産合計	200,465	236,944
固定資産		
有形固定資産		
土地	59,229	59,290
その他(純額)	29,576	30,512
有形固定資産合計	88,805	89,802
無形固定資産		
	2,311	2,264
投資その他の資産		
投資有価証券	32,659	30,345
その他	24,912	24,745
貸倒引当金	△4,868	△5,009
投資その他の資産合計	52,703	50,081
固定資産合計	143,821	142,148
資産合計	344,286	379,093
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	54,410	82,267
短期借入金	11,270	10,264
未払法人税等	3,398	2,342
未成工事受入金	36,836	45,089
工事損失引当金	2,930	2,994
その他の引当金	826	965
その他	12,532	14,597
流動負債合計	122,204	158,520
固定負債		
長期借入金	300	1,282
退職給付引当金	33,172	34,213
その他の引当金	940	923
その他	11,331	11,666
固定負債合計	45,744	48,085
負債合計	167,948	206,605

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,264	10,264
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	158,430	156,614
自己株式	△427	△415
株主資本合計	174,693	172,889
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,855	3,881
土地再評価差額金	△7,792	△7,791
評価・換算差額等合計	△1,937	△3,909
少数株主持分	3,581	3,507
純資産合計	176,337	172,487
負債純資産合計	344,286	379,093

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
完成工事高	212,955	216,205
完成工事原価	197,275	198,833
完成工事総利益	15,679	17,372
販売費及び一般管理費	11,721	12,373
営業利益	3,958	4,998
営業外収益		
受取配当金	417	366
その他	421	363
営業外収益合計	839	729
営業外費用		
支払利息	109	85
為替差損	—	40
その他	83	52
営業外費用合計	193	177
経常利益	4,604	5,550
特別利益		
前期損益修正益	200	955
その他	—	18
特別利益合計	200	974
特別損失		
固定資産除却損	—	74
投資有価証券評価損	438	32
その他	30	10
特別損失合計	469	117
税金等調整前四半期純利益	4,335	6,407
法人税等	1,376	3,271
少数株主利益	58	94
四半期純利益	2,900	3,041

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,335	6,407
減価償却費	2,735	2,868
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35	△986
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△64
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,888	△1,040
受取利息及び受取配当金	△575	△492
支払利息	109	85
投資有価証券評価損益 (△は益)	438	32
投資有価証券売却損益 (△は益)	9	△11
持分法による投資損益 (△は益)	△10	—
売上債権の増減額 (△は増加)	35,514	24,758
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△10,789	8,968
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	—	△35
仕入債務の増減額 (△は減少)	△32,533	△27,423
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	10,027	△8,253
その他	△855	△724
小計	6,484	4,088
利息及び配当金の受取額	564	490
利息の支払額	△109	△85
法人税等の支払額	△589	△2,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,349	2,435
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△173	726
有価証券の取得による支出	△3,000	△9,000
有価証券の売却及び償還による収入	1,000	7,000
有形固定資産の取得による支出	△2,536	△2,362
有形固定資産の売却による収入	47	35
投資有価証券の取得による支出	△1,075	△55
投資有価証券の売却及び償還による収入	38	58
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	804	—
貸付けによる支出	△17	△145
貸付金の回収による収入	23	7
その他	△225	△1,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,114	△5,555



(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	668	164
長期借入れによる収入	200	100
長期借入金の返済による支出	△340	△240
配当金の支払額	△1,227	△1,227
その他	△61	△198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△761	△1,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	469	△4,544
現金及び現金同等物の期首残高	37,503	41,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,972	36,515

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項なし。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項なし。

## 【参考】

## 【四半期個別財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	21,921	34,578
受取手形・完成工事未収入金	53,649	75,083
有価証券	22,003	11,001
未成工事支出金	64,861	74,422
材料貯蔵品	5,286	4,098
その他	10,513	11,625
貸倒引当金	△1,129	△1,915
流動資産合計	177,106	208,895
固定資産		
有形固定資産		
土地	56,205	56,211
その他(純額)	24,087	24,588
有形固定資産合計	80,293	80,800
無形固定資産	2,073	2,095
投資その他の資産		
投資有価証券	35,707	33,433
その他	22,277	22,048
貸倒引当金	△4,125	△4,211
投資その他の資産合計	53,858	51,269
固定資産合計	136,225	134,165
資産合計	313,332	343,060

## 【参考】

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	50,394	72,536
短期借入金	6,100	5,950
未払法人税等	3,134	2,029
未成工事受入金	33,236	42,252
完成工事補償引当金	438	434
工事損失引当金	2,930	2,871
その他	10,480	12,543
流動負債合計	106,714	138,617
固定負債		
長期借入金	300	400
退職給付引当金	30,952	32,035
その他	11,455	11,603
固定負債合計	42,707	44,038
負債合計	149,422	182,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,264	10,264
資本剰余金	6,247	6,246
利益剰余金	149,744	148,188
自己株式	△427	△415
株主資本合計	165,828	164,284
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,874	3,910
土地再評価差額金	△7,792	△7,791
評価・換算差額等合計	△1,918	△3,880
純資産合計	163,910	160,403
負債純資産合計	313,332	343,060

(注) この四半期貸借対照表は、法定開示のレビュー対象ではありませんが、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

## 【参考】

## (2) 【四半期損益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
完成工事高	197,002	200,897
完成工事原価	183,141	185,696
完成工事総利益	13,861	15,200
販売費及び一般管理費	10,329	10,748
営業利益	3,532	4,451
営業外収益		
受取配当金	418	390
受取賃貸料	214	184
その他	213	207
営業外収益合計	845	782
営業外費用		
支払利息	51	39
為替差損	-	40
その他	70	39
営業外費用合計	122	119
経常利益	4,256	5,114
特別利益		
前期損益修正益	82	819
その他	-	18
特別利益合計	82	837
特別損失		
固定資産除却損	-	81
投資有価証券評価損	438	32
その他	29	5
特別損失合計	468	119
税引前四半期純利益	3,870	5,832
法人税等	1,189	3,051
四半期純利益	2,681	2,781

(注) この四半期損益計算書は、法定開示のレビュー対象ではありませんが、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

## 6. その他の情報

## 【参考】個別業績の概要

## 1. 平成22年3月期第2四半期の個別業績（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

## (1) 個別経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	新規受注高		売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	210,186	△10.8	200,897	2.0	4,451	26.0	5,114	20.2	2,781	3.7
21年3月期第2四半期	235,738	0.6	197,002	-	3,532	-	4,256	-	2,681	-

	1株当たり 四半期純利益	
	円	銭
22年3月期第2四半期	13.60	
21年3月期第2四半期	13.11	

## (2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年3月期第2四半期	313,332		163,910		52.3	801.37		
21年3月期	343,060		160,403		46.8	784.16		

## (3) 工事種別新規受注高（累計）

(単位：百万円・%)

	22年3月期第2四半期 (H21・4・1～H21・9・30)		21年3月期第2四半期 (H20・4・1～H20・9・30)		増減		21年3月期 (H20・4・1～H21・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
屋内線・環境設備工事	95,715	45.5	117,309	49.8	△21,593	△18.4	206,199	46.0
情報通信工事	20,715	9.9	19,556	8.3	1,159	5.9	39,560	8.9
配電線工事	76,441	36.4	80,620	34.2	△4,178	△5.2	166,788	37.2
工務関係工事	17,314	8.2	18,252	7.7	△937	△5.1	35,490	7.9
計	210,186	100.0	235,738	100.0	△25,551	△10.8	448,038	100.0

## (4) 得意先別新規受注高（累計）

(単位：百万円・%)

	22年3月期第2四半期 (H21・4・1～H21・9・30)		21年3月期第2四半期 (H20・4・1～H20・9・30)		増減		21年3月期 (H20・4・1～H21・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
東京電力	89,162	42.4	92,151	39.1	△2,988	△3.2	189,848	42.4
一般得意先	121,023	57.6	143,587	60.9	△22,563	△15.7	258,189	57.6
計	210,186	100.0	235,738	100.0	△25,551	△10.8	448,038	100.0

## (5) 工事種別完成工事高 (累計)

(単位: 百万円・%)

	22年3月期第2四半期 (H21・4・1～H21・9・30)		21年3月期第2四半期 (H20・4・1～H20・9・30)		増 減		21年3月期 (H20・4・1～H21・3・31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
屋内線・環境設備工事	92,331	45.9	84,165	42.7	8,165	9.7	195,483	45.0
情報通信工事	19,614	9.8	17,072	8.7	2,541	14.9	41,062	9.4
配電線工事	74,964	37.3	80,025	40.6	△5,061	△6.3	166,205	38.2
工務関係工事	13,987	7.0	15,739	8.0	△1,751	△11.1	32,046	7.4
計	200,897	100.0	197,002	100.0	3,894	2.0	434,798	100.0

## (6) 得意先別完成工事高 (累計)

(単位: 百万円・%)

	22年3月期第2四半期 (H21・4・1～H21・9・30)		21年3月期第2四半期 (H20・4・1～H20・9・30)		増 減		21年3月期 (H20・4・1～H21・3・31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
東京電力	85,387	42.5	90,665	46.0	△5,277	△5.8	189,024	43.5
一般得意先	115,510	57.5	106,337	54.0	9,172	8.6	245,774	56.5
計	200,897	100.0	197,002	100.0	3,894	2.0	434,798	100.0

## (7) 工事種別次期繰越工事高

(単位: 百万円・%)

	22年3月期第2四半期 (H21・9・30現在)		21年3月期第2四半期 (H20・9・30現在)		増 減		21年3月期 (H21・3・31現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
屋内線・環境設備工事	174,737	80.4	193,781	83.0	△19,043	△9.8	171,352	82.4
情報通信工事	9,499	4.4	12,384	5.3	△2,885	△23.3	8,398	4.0
配電線工事	4,210	1.9	2,745	1.2	1,465	53.4	2,733	1.3
工務関係工事	28,916	13.3	24,659	10.5	4,257	17.3	25,590	12.3
計	217,363	100.0	233,570	100.0	△16,206	△6.9	208,074	100.0

## 2. 平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

## (1) 個別業績予想

(%表示は対前期増減率)

	新規受注高		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	420,000	△6.3	428,000	△1.6	7,000	0.3	8,000	△1.8	4,100	△12.1

## (2) 工事種別新規受注高・完成工事高予想 (単位:百万円・%)

	新規受注高 (H21・4・1～H22・3・31)		完成工事高 (H21・4・1～H22・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比
屋内線・環境設備工事	195,000	46.4	200,000	46.7
情報通信工事	40,000	9.5	40,000	9.4
配電線工事	155,000	36.9	155,000	36.2
工務関係工事	30,000	7.2	33,000	7.7
計	420,000	100.0	428,000	100.0

## (3) 得意先別新規受注高・完成工事高予想 (単位:百万円・%)

	新規受注高 (H21・4・1～H22・3・31)		完成工事高 (H21・4・1～H22・3・31)	
	金額	構成比	金額	構成比
東京電力	175,000	41.7	175,000	40.9
一般得意先	245,000	58.3	253,000	59.1
計	420,000	100.0	428,000	100.0

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において想定される経済情勢や市場動向などを前提としたものであり、今後の様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。